

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習Ⅲ事前事後指導		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
保育実習Ⅰを終えた学生が、選択実習として取り組む「保育実習Ⅲ（福祉施設）」と「児童館実習Ⅰ（児童館）」の事前事後指導を合わせて行う。まず、保育実習Ⅰの評価と振り返りを踏まえ、「保育実習Ⅲ」「児童館実習Ⅰ」の意義と目的、概要、心構え、実習倫理等について理解する。選択しての福祉施設実習に臨む上での経験値を高め、実習計画書き上げるとともに、エピソード記録と育成記録の違いを学ぶ。その他、施設の種別特性を理解させながら必要な事前準備をする。後期配当科目だが、11月前後に予定する実習期間に合わせて一部前期に開講する。なお、本科目の履修は「保育実習ⅠA」「保育実習ⅠB」の単位をすべて修得済みであることが必須の条件でる。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	保育実習Ⅰの振り返りによる保育実習Ⅲに向けた自己課題の確認後、ディスカッションを取り入れた対面授業により福祉施設実習を行うために必要な知識や姿勢、注意点等に関する情報提供し、ワークシートにアウトプットさせて定着化を図る。さらに、実習目標と課題の設定、主体的な実習に臨む姿勢を醸成し、実習計画書・その他の書類、並びに、実習後の報告書等の作成作業に取り組ませる。尚、授業効果を高めるために、一部の授業と書類作成をオンライン上で実施する。オンライン上での提出課題・書類等へはプラットフォーム上で添削・コメント記入後に返却するとともに質疑応答に対応する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	履修オリエンテーション 仮登録アンケート	「保育実習Ⅲ」「児童館実習Ⅰ」と本授業の履修オリエンテーションを実施する。仮登録用紙に必要事項を記載させて回収する。	□
第2回	保育実習Ⅲの意義と目的及び実習方法 施設希望アンケート調査	「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」の意義と目的及び実習方法を説明するとともに、配属施設の希望アンケートを配布して必要事項を記入させて回収する。	□
第3回	保育実習ⅠBの評価と振り返り 実習課題の確認	実習ノートや報告書、自己評価等を活用して各自の保育実習ⅠBを振り返らせながら、「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」の課題と目標を設定させる。	□
第4回	配属施設案の提示と調整	配属に関わる諸条件、及び、学生に記述させたアンケートに基づいて策定した配属施設1次案を発表して必要な修正と確認を行う。	□
第5回	配属施設の確定 実習ノート配布と書類作成	配属施設の確定をしたうえで、実習施設の概況説明を行う。実習ノートを配布して氏名等を記入させ、個人票その他の書類を作成させる。	□
第6回	課題と抱負の1次提出	実習計画としての「課題と抱負」を記述させて1次提出させる。	□
第7回	課題と抱負の完成 事前提出書類完成	添削した各自の「課題と抱負」を修正・加筆させて完成させる。清書したものを提出させ、事前訪問提出書類一式を完成させる。	□
第8回	施設種別の実習内容と方法 細菌検査について	配属施設施設種別による実習内容と方法に関する指導を行う。細菌検査の提出方法を確認する。	□
第9回	児童育成記録とエピソード記録の書き方	児童育成記録の書き方を指導し、エピソード記録との併用方法を理解させる。	□
第10回	事前訪問準備と連絡調整	事前訪問に関する指導後に配属施設毎に施設と事前訪問日の調整を図る。	□
第11回	実習計画書と事前訪問報告書	事前訪問報告書など実施後の提出書類を確認する。作成した「課題と抱負」に基づいて、「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」における実習計画書を作成させる。	□
第12回	実習直前指導と諸注意 実習後の取り組み方と提出書類	「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」に臨む直前の全体指導を実施し、実習後の取り組み方と提出書類について確認する。	□
第13回	実習直前グループ指導	配属施設グループ毎の直前指導を実施する。	□
第14回	事後指導①全体指導	実習終了後の報告会を行うとともに全体指導を行う。	□

第15回	事後指導②グループ指導	施設からの評価を踏まえて配属施設グループ毎の事後指導を実施する。	☐
------	-------------	----------------------------------	--------------------------

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

「保育実習ⅠBの振り返りシート」「課題と抱負」「実習計画書」その他の書類の作成作業を行う。実習後には実習ノートを完成し、その他関係書類をまとめるとともに「施設実習報告書」の作成を行う。以上の事前・事後学習を合計30時間程度取り組ませる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ワークシートや提出書類については添削して評価を行い、授業内またはプラットフォーム上で返却して解説し、改善を図らせる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	選択施設実習である「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」の事前事後指導を通し、保育士になるための資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	選択施設実習である「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」の事前事後指導を通し、現代の福祉・保育現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を習得できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	選択施設実習である「保育実習Ⅲ」と「児童館実習Ⅰ」の事前事後指導を通し、児童福祉施設での養護・保育に主体的協働的に携わることができる幅広い人間力を体得できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

提出物、書類、準備状況、姿勢から総合的に評価する

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育士をめざす人の福祉施設実習〔第2版〕愛知県保育実習連絡協議会・「福祉施設実習」編集委員会 編 編集代表：伊藤貴啓・小川英彦	9784860153083
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		